

スロートラベルは国家的なプロジェクト

スロートラベルは、まさに国家的なプロジェクトになりつつあるようです。それは、いま顕著になりつつある「各地方自治体の財政的破綻」を解消する妙薬となるからです。

今、構造改革の影の側面として、都市部と地方の地域格差がますます明瞭になっていきことが指摘されるようになってきました。少子化による人口減少や補助金カットによる財政的困窮がこのまま進むと、2030年には、ごく一部の地方を除き、ほとんどの地域経済は縮小することが予測されています。

それを食い止める戦略こそ、各地域の観光政策の振興による交流人口の拡大だというわけです。

このような「観光立国」という戦略を進めるにあたって大いに期待できるのが、自動車旅行です。

日本観光協会と交通公社の調査では、ともに2006年度のマイカーとレンタカーを合わせた自動車旅行の普及率は50%を超える数値を示し、現在では6割に達しています。

自動車旅行は、飛行機や列車のように「点から点へ」移動するものとは異なり、常に「線」を描いて遂行されます。

それによって、自動車が行く地域のレストラン、ガソリンスタンド、土産物屋、ホテル・旅館などが切れ目なく経済効果の恩恵に浴することができます。

そのような自動車旅行を推進していくためには、乗り越えなければならないハードルがいくつかあります。

代表的なハードルは、日本人の休暇に対する意識の遅れ。

ビジネスマンの有給休暇の消化率は、あいかわらず50%台を低迷し、旅行形態も「日帰り」が前提となっています。

日帰り旅行が中心となるかぎり、移動日が休日内に集中するために、交通渋滞が緩和される見通しも立ちませんし、観光地の宿泊施設の稼働率も伸びません。

それを解消する戦略こそ「旅行者の滞在期間の延長」です。つまりスロートラベルの勧めです。

現在の日本人の平均宿泊日数は2.77日。これを4日にまで延ばすことで、国内観光消費額を30兆円まで引き上げることができるそうです。

そのためには、まず各地域がドライバーに滞在したいと思わせるような楽しいプログラムをつくるのが大事であり、昼の観光のみならず、夜の過ごし方も含めた魅力的な提案をできるようにしなければならないといわれています。

……これは、07年11月に幕張メッセ国際会議場で開かれた「自動車旅行推進機構」のシンポジウムで得られた結論です。

スロートラベルが、国民的課題になってきた感じがヒシヒシと伝わってきますね。キャンピングカーの出番です。

ゴミを出さないことは 環境保全にもつながる

文明生活が進むにしたがって
大量に排出されるゴミ問題が、今、
どの先進国でも大きな問題になっています。

ゴミ問題を解決することは、
マナー意識の向上につながるだけでなく、
地球環境の保全という役割も背負っています。

難しいことはひとつもありません。
ここでは、キャンピングカーユーザーが簡単に行える
「ゴミを少なくするコツ」をご披露いたしましょう。



今日から使える! ためになる!
スロートラベル応援
お役立ちアイデア集

食事・ゴミ処理 編

今日から使える! ためになる!
スロートラベル応援
お役立ちアイデア集

人が生きていくうえで欠かせない食事。
買物をして、料理をして、何かすれば出てくるゴミ。
料理は手際よく、ゴミはなるべく出さないようにするのもスロートラベルの楽しさのひとつ。
キャンピングカーという限られたスペースで快適に過ごすためのアイデアです。



キャンプの食材は家を出る前に加工する

食材などの生ゴミを出さない一番良い方法は、家を出る前にあらかじめ食材を使う量だけ加工してしまうことです。
たとえばバーベキューなどに使う野菜は、切り刻んで串に刺せばいいような状態にしておく。
同じように、魚などを調理するときも、家を出る前にはらわたを取ったり、ウロコを取ったりして、すぐ調理できる状態にしておく。
食材を洗うときも家の中で洗ってしまえば、現地に着いて大量の水を使うこともありません。
家の中で、事前に食材を下ごしらえしておけば、食べる量も正確に計れます。

たとえば、カレーの材料に使うニンジン、タマネギ、ジャガイモなども、素材のまま持っていくとなると、つつい大目に用意がちですが、家で切ってみると、人数分の正確な量が計算しやすくなります。
短期間のキャンプが目的の場合は、こ

のように事前に食材を加工する方法がとても有効ですが、長距離旅行ともなると事前の準備も難しくなります。時にはレストラン、食堂を有効に使うこともお勧めします。



紙皿、紙コップの使用をひかえる

リユースできる食器類を使うことは、ゴミを減らす意味でもとても大事なことです。
たとえば、使い捨ての割り箸を持参するのをやめて、木やプラスチックの「マイ箸」を使う。
食器類も、紙皿や紙コップの使用をひかえ、キャンプ用品として普及しているアルミ皿やプラスチック皿を使う。

カップ麺などを食べる時、あらかじめ容器から中味だけを取り出して、別の容器に移し替え、お湯を注ぐときはマイカップを利用する。
こうするだけでも、かなりのゴミを減らすことができます。
旅の途中では、スーパーなどで食材を調達することもあります。
そのときに、後でゴミとなりやすいの

が、食材を入れた発泡スチロール系のトレイ。
最近のスーパーなどでは、このトレイなどを回収するボックスを設置している店も増えました。
係の人によく説明を聞き、トレイを洗ってから、このようなトレイ回収ボックスに捨てさせてもらうことも検討していきましょう。



汁ものの処理にはペット用排泄シートを利用

生ゴミを出さない究極の方法は、ぜんぶ食べてしまうことです。
しかし、そうは言っても、食べきれないものはどうしても出てしまいます。
そこで、キャンプ料理は味付けも大事。油っこい味は、最初のうちは食欲が進みますが、お腹がいっぱいになると、胃が受け付けなくなりがち。だから、少しあっさり目の味付けをするのがコツ。
カップ麺なども、油分の多いこってり味のもの、最後までツユが飲めなくなることがあります。これもあっさり味のものを選ぶのがベター。

どうしてもツユが残ってしまう場合は、ペット用の排泄シートに染み込ませるという方法もあります。
また、大きめの空のペットボトルを用意して、飲みきれなかったツユをそこにに入れて持ち帰ることも、時には必要です。
油分を含んだツユをキャンピングカーのシンクに落としてしまうことは避けましょう。配管が細いものが多いので、つま原因になります。
さらに、食べ残しのツユを車外に捨てるようなことは、マナー上絶対に行ってはならないことです。



ゴミ処理するためにもキャンプ場を有効に使う



どんなにゴミを少なくする方法を編み出しても、旅行中のゴミはやっぱり溜まってしまう。
旅行中のゴミを処理する意味においても、キャンプ場はありがたい存在です。
キャンプ場のなかには、「ゴミ持ち帰り」を推奨しているところもありますが、施設の整った大きなキャンプ場の場合は、

たいいていキャンプ中に出たゴミならば無料か少額の処理料を払うだけで処理してくれます。
その場合、たいいてい分別処理になりますが、地域によってもまたキャンプ場の運営方針によっても分別の区分けが異なる場合があります。
空き缶などを捨てる場合も、場所によ

ってはスチール缶とアルミ缶に分けているところもあります。
また、つぶして捨てることを推奨しているところと、つぶさず捨てるように指示しているところもあります。くれぐれもそのキャンプ場の指導に従うようにしましょう。

トイレ編

今日から使える! ためになる!
スロートラベル応援
お役立ちアイデア集

便利な装備であるトイレも片付けるのはやっぱり面倒なものです。
でも使い方やちょっとした工夫でもっと快適になります。

トイレにティッシュペーパーを流さない

キャンピングカーの便利な装備のひとつにトイレがあります。
しかし、トイレの処理には多少覚えておかなければならないことがあります。
その一つは、絶対に水に溶けない紙は

流さないこと。
これはマリントイレにおいても、カセットトイレやポータブルトイレにおいても同様です。
ティッシュペーパーは水に溶けにくい

ので、詰まりの原因になることがあります。
水に溶けやすいトイレペーパーを使いましょう。

トイレ処理は他人の迷惑にならないように

トイレの処理はできるだけ自宅か、もしくはキャンプ場の施設を使うよう心掛けましょう。
キャンプ場の中には、輸入車のマリントイレに対応できるダンプステーションを備えているところも結構あります。
また、まだ数は少ないのですが、カセットトイレの専用処理施設を設けているところも出てきています。これはとても便利なものです。
カセットトイレの処理は、そういう場所を利用するのが最も理想的ですが、そういう処理施設がないキャンプ場の場合は、一般客用トイレを使うことになります。
その場合は、なるべく他の人が利用し

ない深夜や早朝の時間帯に処理を済ませてしまうことをお勧めします。
その理由のひとつは、何日間にも渡ってタンクに汚物が溜まった場合、蓋を開けたときに悪臭が出るが多いからです。この臭いは消臭剤を使っても消せない場合があります。
また、消臭剤の種類によってはその地域の浄化槽にダメージを与えることもあるので、その消臭剤が地域のトイレ施設と合うかどうかを必ず確認しましょう。
タンクの中味をトイレに流すときも要注意です。
特に和式のトイレなどでは、タンクに溜

まりすぎた場合は便器から溢れ出すこともあります。何度か小分けにして、少しずつ水に流すようにしましょう。

ペットの排泄物もキャンピングカーのトイレに

ペット連れて旅行するときは、ペットの排泄物も悩みのタネになります。
室内犬の場合、オシッコの方は排泄用シートを利用されている方が多いでしょう。
困るのはウンチの場合。
一番良い処理方法は、トイレ付きのキャンピングカーの場合は、ウンチはその

ままトイレペーパーに包んで、キャンピングカーの車内にあるトイレに流してしまうことです。
固形の排泄物でも、移動中に車内が揺れることで自然に流体物になります。これなら誰にも迷惑がかりません。
トイレの話はともすれば避けて通りがちですが、キャンピングカーのトイレは上



手に使うと、とても便利な装備のひとつです。

排泄物を凝固剤で固める商品も登場

最近、排便・排尿などの排泄物を、凝固剤を使って瞬間のうちに固めてしまうというトイレ処理セットなども市販されています。
固まってしまえば、衛生上の問題や臭

い問題もクリアして、「燃えるゴミ」として、そのまま家に持ち帰って処理できるようになっています。
これらの商品を手上に利用すれば、キャンピングカーのトイレ処理の負担を減

らすことができるかもしれません。
いろいろなアイデアを組み合わせ、人に迷惑をかけない快適なトイレ処理システムを考案してみてください。

COLUMN
KURUMATABI

エコドライブの意識が大切な時代

地球温暖化に鋭く警鐘を鳴らしたアル・ゴア氏がノーベル平和賞を取るなど、今の時代は「環境負荷の低減」という視点がなければ何も語れないような雰囲気になってきました。

そのなかで、石油依存のエネルギー構造が、CO2(二酸化炭素)排出量の増大を招くと指摘する声は年々強まっています。

CO2の排出は、自動車だけの問題に限らず、社会的な規模で見る必要があります。

CO2の排出比率は、
発電によるものが34パーセント。
産業によるものが23パーセント。
家庭によるものが19パーセント。
交通によるものが24パーセント。
この「交通」のうち、自動車が排出するものが12パーセントだといえます。

このように、自動車交通を含め、広い分野で「石油に依存する率の低減」が、人類の大きな課題となっていることが浮き彫りにされてきました。

そのため、各自動車メーカーは、よりクリーンで効率的なディーゼルエンジンの開発やディーゼル並みの効率化を達成するガソリンエンジンの開発。さらにそれらのパワーユニットのハイブリッド化を図るなど、パワートレインの改良と同時に、空力の改善、軽量化の促進など、自動車技術の総合的な見直しに取り組み始めました。

また、食料事情を悪化させない、より効率的なバイオマス燃料の開発も積極的に推進されています。



ただ、バイオに依存できるのは全エネルギーの20~30パーセント程度だろうという見解もあります。

その先で必要となってくる技術は、電気自動車や燃料電池自動車を実用化する技術だといわれています。

それと同時に、代替燃料車が走る世界を構築するためのインフラの整備も検討されことになるでしょう。

このように各自動車メーカーは、鋭意「環境に優しい車両」開発に全力を投入するようになってきましたが、ユーザー側にもそれに協力する余地が残されています。

- たとえば、
「アイドリングを5分短くする」
「ふんわりとアクセルをスタートさせる」
「むやみな加速をしない運転を心掛ける」

このようなエコドライブを、地球上のドライバー全員が心掛けることで、とてつもない量の石油燃料の温存と、CO2の排出低減が達成されるといわれます。

楽しさが感じられてこそ、人々は動きます。
エコドライブにも楽しさは存在するし、また将来開発されてくるエコカーにも、新しいドライビングプレジャーは存在するでしょう。

今後は、キャンピングカーにもエコカーの流れがもたらされることになっていくことでしょう。

皆様からのご意見・ご感想お待ちしております

今回の「くるま旅Vol.4」はいかがでしたか? 皆様の素敵なくるま旅の参考になれば幸いです。また事務局では皆様からのご意見・ご感想をお待ちしております。「こんな事が知りたい」「こういう特集をやってほしい」などのご要望や、「〇〇道の駅のこれは美味しい」「私の★★★キャンプ場」「こんな動物と出会った」等々、あなたのくるま旅のエピソードをお寄せください。写真も大歓迎です。十人十色のくるま旅のお話を聞かせて下さい。採用された方には粗品を進呈します。

宛先 〒194-0022 東京都町田市森野1-10-10 ペアシティエンドビル2-A
日本RV協会事務局「くるま旅編集部」まで

くるま旅 Vol.4

- 発行 日本RV協会 (JRVA)
- 編集 株式会社自動車週報社
- 印刷 図書印刷株式会社

〈無断転載を禁ず〉

2008年2月1日発行 Printed in Japan 2008